

1 January

15・22

スペシャルアートシアター(2週連続上映)
ゴッホとヘレーネの森
クレラー=ミュラー美術館の至宝

【時間】両日とも 14:00～15:40 (上映時間:90分)
【場所】講堂 【対象】高校生～一般 【申込】不要
【定員】250名 ◎視聴無料



画像提供:ニューセレクト株式会社

西洋美術史における最も偉大な画家の一人、フィンセント・ファン・ゴッホ。37歳で自ら命を絶つまでの10年間で精力的に創作を行い、現存する作品は2000点以上と、今もお美術界に大きな影響を与えています。本作では、死の直前まで誰にも評価されることのなかった彼の作品を300点も収集した富豪、ヘレーネ・クレラー=ミュラーのコレクションと、ゴッホが生前に残した膨大な手紙を通して2人の人生の深層に迫ります。(イタリア/2018年制作)

29 スペシャルアートレクチャー 「対話型鑑賞」って本当に役に立つの？」(仮)

【講師】三ツ木 紀英氏 (NPO法人 芸術資源開発機構 代表理事・アートエドゥケーター・アートプランナー)
【時間】14:00～16:00 【場所】講堂
【対象】高校生～一般 【定員】250名 【申込】不要
◎聴講無料

アートエドゥケーター・アートプランナーとして活躍されている三ツ木 紀英(みつき・のりえ)氏を講師として、美術作品をよく見て、見つけたものや感じたことを対話しながら鑑賞を深めていく「対話型鑑賞」の良さや、その中で発揮される能力などについてお話を伺います。



対話型鑑賞ファシリテーターの希望者登録を行っています



美術館の開館に向け、小学生が作品鑑賞を行う際の案内役となるファシリテーターをやりたい方を募集しています！作品の前で、子どもたちの言葉に耳を傾け、対話をつくる特別な時間を、一緒に楽しんでみませんか？お問い合わせは美術振興課まで。

↑イメージ (企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」での会場の様子)

3月 26 アートの種まきプロジェクト(=新しい美術館のためのワークショッププログラム) 「美術館ができるまでを伝えるフリーペーパー」の発送作業を一緒にやってみませんか？(公開発送作業)

2 February

5

アートシアター
「ZERO PROJECT SUISEI 43 TOTTORI」
中ハシクシゲ ゼロプロジェクト 彗星 43 / 鳥取

【時間】14:00～15:00 (上映時間:約36分) 【場所】講堂
【対象】高校生～一般 【申込】不要 【定員】250名
◎視聴無料

2007年3月から5月にかけて当館で行われた現代美術館 中ハシクシゲの「ゼロプロジェクト」のドキュメンタリー映像を上映します。



12 企画展「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」 ギャラリートーク(前期展示編)

【時間】14:00～15:00 【場所】第1・2特別展示室
【対象】高校生～一般 【申込】不要 ◆要観覧料

本展担当学芸員と会場を回りながら、作品鑑賞を行います。

13(日) 県立美術館設計者による記念講演会を倉吉未来中心で開催します！

←詳細は、鳥取県立美術館ウェブサイトをご覧ください。

19 企画展 特別講演会① 「小早川秋聲が求めたもの」

【講師】松竹 京子氏 (小早川秋聲研究家)
【時間】14:00～15:30 【場所】講堂
【対象】高校生～一般 【定員】250名
【申込】不要 ◎聴講無料

小早川秋聲研究の第一人者である松竹氏をお招きし、秋聲作品の魅力に加え、人柄や交友関係などについてお話していただきます。



小早川秋聲《未来》個人蔵

26 レクチャー&ワークショップ オリジナルの「表装」でミニ掛軸をつくろう！

【時間】14:00～15:30 【場所】会議室・展示室
【対象】小学生～一般 【定員】10名
【申込】2月11日(金) 8:30～(電話のみ) ◎参加費無料

開催中の「小早川秋聲」展では、多くの掛軸が展示され、なかには、その表装に大変凝ったものが見られます。そうした秋聲の表装へのこだわりについて、担当学芸員の話を聞き、オリジナルの表装でミニ掛軸をつくるプチワークショップを行います。

【時間】10:00～15:00 (状況に応じて、作業が早く終了する場合があります)
【場所】倉吉未来中心ホワイエ (倉吉市駄経寺町212番地5)
【対象】小学生～一般 【申込】不要

3 March

5

企画展 スペシャルアートツアー
小早川秋聲ゆかりの地を巡る旅 in 奥日野

【時間および集合・解散場所】11:00～15:00 (全2部構成)
11:00に日野町黒坂に現地集合。集合場所の詳細は、お申込みの際にお伝えします。黒坂での散策終了後、各自で日南町美術館へ移動します。(昼食も各自でおとりください) 15:00ごろに日南町美術館現地で解散します。
※2部のうち、どちらか一方のみの参加も可能です。お申込みの際にご相談ください。

《第1部》「黒坂編」11:00～12:30
秋聲の故郷である日野往来沿いの宿場町「黒坂」を巡り、秋聲や小早川家の人々の足跡を辿ります。(およそ0.8kmをゆっくり歩きながら散策します。)
《第2部》「日南町美術館編」14:00～15:00
日南町美術館で開催中の「小早川秋聲展」のギャラリートークに参加します。

【対象】高校生～一般 【定員】20名程度
【申込】2月18日(金) 8:30～(電話のみ)
【持参品】 屋外散策時の防寒着や雨具等、200円(日南町美術館の展覧会への入場料)

日南町美術館、米子市美術館、当館の学芸員がナビゲーターを務め、秋聲ゆかりの地を訪ねます。(※天候により、内容を変更する場合があります。)

12 企画展「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」 ギャラリートーク(後期展示編)

【時間】14:00～15:00 【場所】第1・2特別展示室
【対象】高校生～一般 【申込】不要 ◆要観覧料

本展担当学芸員と会場を回りながら、作品鑑賞を行います。

19 企画展 特別講演会② 「小早川秋聲の画業と《國之楯》」

【講師】植田 彩芳子氏 (京都府京都文化博物館学芸員)
【時間】14:00～15:30
【場所】講堂
【対象】高校生～一般
【定員】250名
【申込】不要 ◎聴講無料

本展企画者のお一人である植田氏をお招きし、秋聲の画業と、代表作の《國乃楯》についてお話していただきます。



小早川秋聲《國乃楯》京都霊山護国神社蔵(日南町美術館寄託)

3月に、県立美術館開館までのカウントダウンイベントを開催する予定です！

←詳細は、鳥取県立美術館ウェブサイトをご覧ください。

絶賛発行中のフリーペーパー「Pass me!」(パスミー)。この度、6号目が完成します！この日は、冊子の発送にかかるラベル貼りや封入作業をオープンスペースで開催します。美術館づくりを盛り上げるための活動に、あなたも参加してみませんか？お近くにお越しの際は、ぜひ会場にお立ち寄りください。

小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌 (レクイエム)



《語りぬなやみ》1921年 日南町美術館蔵

大正から昭和にかけて京都を中心に活躍した日本画家 小早川秋聲 (こばやかわ・しゅうせい、1885-1974)。本展は、その画業の初期から晩年期に至るまでの代表作・初公開の作品を含め、100点余りが一堂に会する初の大規模回顧展となります。秋聲の内に秘められた哀しいまでに豊かで、どこまでも抒情的な世界の全貌をご紹介します。

【会期】2022年2月11日(金・祝)～3月21日(月・祝)

前期展示：2月11日～2月27日

後期展示：3月1日～3月21日

休館日：毎週月曜日(3月21日を除く)

【会場】鳥取県立博物館 2階 第1・2特別展示室

【開館時間】午前9時～午後5時 ○入館は閉館の30分前まで

【観覧料】一般＝800円

前売り、20名様以上の団体、70歳以上、大学生
＝600円

◎次の方は無料です。／高校生以下、学校教育活動の引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者

※本展のチケットは、イープラス、ローソンチケットでもお買い求めいただけます。
イープラス (<https://eplus.jp/kobayakawashusei-tottori/>)、およびファミリーマート
店内 fami ポート)、ローソンチケット (ローソン店内 Loppi、Lコード)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。また、講堂での上映会や講演会等は、座席数を制限するため、開始時刻の30分前に開場し、原則先着順といたします。最新情報は、当館のホームページをご覧ください。

毎週 土曜は アートの日

2022

- 1 January
- 2 February
- 3 March



◎JR鳥取駅から

- ▶バスで ①100円バスぐる梨(緑コース)で「①仁風閣・県立博物館」下車すぐ
- ②ループ麒麟獅子「③鳥取城跡」下車すぐ
- ④砂丘・湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
- ⑤市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ▶タクシーで 約10分

◎鳥取空港から ▶鳥取駅空港連絡バスで「西町」下車約400m

◎お車で ▶鳥取自動車道・鳥取ICより約15分

※当館駐車場21台駐車可能(なるべく公共交通機関をご利用ください)



鳥取県立博物館

〒680-0011 鳥取市東町2-124

☎ 0857-26-8045

✉ hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp